

# 公安委員会定例会議(第16回)の開催状況

第1 日 時 令和3年6月23日(水)

午後1時30分 ～ 午後5時10分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、増田委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長

第3 議事の概要

## 1 増田委員説示

今日は、女性の活躍について話します。

1930年代は、“女性は家庭内で”というのが当たり前の時代でしたが、アメリカのアパラチア山脈あたりでは、ブック・ウーマンと呼ばれる女性たちが、不況下での雇用創出施策の一環として行われた、険しい山道を馬で本を運び人里離れた遠隔の地へ届ける移動図書館(パック・ホース・ライブラリー)の業務に従事していました。

また、1960年代、映画「ドリーム」のモデルとなったアフリカ系アメリカ人の女性数学者キャサリン・ジョンソン(1918-2020)は、様々な差別等により苦勞しつつも、有人宇宙飛行に必須の軌道計算を行い、その成功に決定的な役割を果たしました。

このような時代を経て、今日では、法曹界等様々な分野で活躍する女性が増えるとともに、男性が女性蔑視の発言をすると、普段の生活で多くの人が違和感を覚えるようになってきています。

愛媛県警察でも、平成6年に初めて女性警察官6人を採用して以降、採用を続け、現在では、270人を超える女性警察官が活躍しています。また、今年、警察学校で女性警察官がクラス担任を任される(2人目)など、活動する分野も多岐にわたっています。近い将来、多くの女性所属長や女性部長が誕生することを期待します。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和3年第15回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

- (2) 公安委員会宛て苦情の受理  
総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理（2件）について伺いがあり了承した。
- (3) 公文書公開請求にかかる非公開  
総務室から、公文書公開請求にかかる非公開について伺いがあり了承した。
- (4) 行政訴訟事件の応訴体制  
警務部から、行政訴訟事件の応訴体制について伺いがあり了承した。
- (5) 銃刀法に基づく医師の指定  
生活安全部から、銃刀法に基づく医師の指定について伺いがあり了承した。
- (6) 特定抗争指定暴力団等の指定に係る指定期限の延長  
刑事部から、特定抗争指定暴力団等の指定に係る指定期限の延長について伺いがあり了承した。
- (7) 交通規制の実施  
交通部から、交通規制の実施について伺いがあり了承した。
- (8) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞  
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果14件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

### 3 報告事項

- (1) 「警察記念日表彰式」の開催  
首席監察官から、7月1日に行われる「警察記念日表彰式」について報告があった。
- (2) 県外に家出した女子高校生2名の保護  
生活安全部長から、県外に家出した女子高校生2名を保護した旨報告があった。  
委員から、「地道な捜査で被害を未然に防ぐことができたと考えている」との発言があった。  
委員から、「様々な手法を駆使し、発見に至ったことはよかったと思う」、「再発防止に向け学校側への指導も実施していただきたい」との発言があった。
- (3) 繁華街・歓楽街対策の推進

生活安全部長から、風営適正化法に基づく時間外営業等店舗への立入り等、繁華街・歓楽街対策を推進したことについて報告があった。

委員から、「感染症対策等を万全として対策を進めていただいております、引き続き、悪質な店舗の摘発等繁華街対策を積極的に推進していただきたい」との発言があった。

(4) 地方公務員法違反事件被疑者の逮捕

刑事部長から、今治市内における地方公務員法（守秘義務）違反事件の被疑者を逮捕した旨報告があった。

委員から、「この事件は、社会的反響の大きいものとなった」、「この種事件の検挙も、公的機関のモラル向上には必要ではないか」との発言があった。

(5) 交通重大事故抑止3か月対策の実施

交通部長から、第3期（7月～9月）における交通重大事故抑止3か月対策の実施概要について説明があった。

委員から、「幹線道路での速度抑制対策や交差点対策と併せて、法規を守らない自転車対策等も進めていただきたい」との発言があった。

(6) ひき逃げ事件の検挙

交通部長から、5月24日、宇和島市内で発生したひき逃げ（アルコール影響発覚免脱等）事件の検挙について報告があった。

(7) 東京オリ・パラ警備に伴う各種部隊の特別派遣計画

警備部長から、東京オリンピック及びパラリンピック警備に伴う各種部隊の特別派遣計画について報告があった。

委員から、「派遣される者は、期間が長い、怪我等のなきよう注意を払っていただきたい」との発言があった。

(8) 犯罪被害者等の支援に特化した条例の制定に向けた取組

総務室から、犯罪被害者等の支援に特化した条例の全国における制定状況、条例制定に向けたこれまでの経緯等について報告があった。

(9) 愛媛県警察デジタル総合戦略推進委員会の開催結果

総務室から、6月22日の愛媛県警察デジタル総合戦略推進委員会の開催状況について報告があった。

(10) 損害賠償事案の知事専決処分

警務部から、損害賠償事案の知事専決処分について報告があった。

(11) 愛媛県警察採用試験直前トークセッションの開催結果

警務部から、5月30日、6月3日及び9日の3日間、転職警察官を招

き開催した「愛媛県警察採用試験直前トークセッション」について報告があった。

(12) 大麻取締法違反事件の検挙

刑事部から、大麻取締法違反（所持・営利栽培）事件の検挙について報告があった。

4 その他

(1) 委員から、「先日、新型コロナワクチン接種を行ったが、接種直後の休憩時に、“還付金詐欺に注意”と記載のチラシが配られたなど、効果的な広報が行われていると感心した」、「このように、県民に伝えたいことがあれば、効果的な広報ができるよう、常にアンテナを高く張っていただきたい」との発言があった。

(2) 本部長から、「警察職員に対するワクチン接種は、エッセンシャルワーカーとしての役割についてご理解いただけたものと考えている。接種で調子を崩す職員がいれば、ワクチン休暇を取得させたいと考えている」、「委員説示のとおり、警察組織の中においても、女性に対する意識について、“どのポストに付けることができるか”から、“どのポストに必要か”、“(例外として) どのポストに付けることが難しいか”などと変化してきており、現在も変化の真っ只中にある。愛媛県警察でも、ひめロール制度の創設や冊子の発行など、女性の活躍を促進する取組を行っており、引き続き、経済界、教育界、法曹界等各分野に高い知見を有する委員の指導をいただきつつ、女性活躍に向けての各種取組を進めていきたい」との発言があった。

以 上